

ゲストの皆様へ

東京エディション虎ノ門へようこそ。皆様の日常にラグジュアリーなひとときをご提供させていただきたく、本格的なデザイン、極上のダイニング、そしてそれぞれのゲストの方のご要望にもお応えした、斬新でユニークなオリジナルの体験をご用意しております。

東京エディション虎ノ門は、世界が憧れる街、東京に、洗練された空間を築いております。ホテルには、22室のスイートと、15の独創的な超高層ビルのプライベートテラス付きのお部屋を含む206の客室がございます。日本の著名な現代建築家であり、世界的にも高く評価されている隈研吾氏によるデザインには、日本文化の特色でもある控えめな美が随所に見受けられます。

極上のダイニングとエンターテインメントをコンセプトにした、イアン・シュレーガー氏監修のこのホテルは、日本では未だ見られない真のラグジュアリーライフスタイルをご堪能していただける、魅惑的なオアシスとなっております。洗練されたスカイロビーからご覧いただける壮大な景色を背景に、魅力的な「Lobby Bar」と、開放的で素晴らしいレストラン「The Blue Room」も一緒にお楽しみください。東京エディション虎ノ門は、東京の新たな社交場としての役割を担うことになるでしょう。

伝統的な手法と最新の技術を取り入れたスパでは、マインドフルネスを体験していただけます。東京ならではのウェルネスを体験し、心身ともにリフレッシュしていただけます。

我々熱心なスタッフ一同、東京での体験が忘れ得ぬ素晴らしいものとなるべく、皆様のニーズに沿ったサービスをご提供する事に努めてまいります。きっとすぐにでも次の東京旅行の計画を立てていただける事かと思えます。東京エディション虎ノ門でのご滞在中にお手伝いできることがありましたら、直接お気軽にご相談ください。



ゴフレド・デラペニーノ
ホテルマネージャー

東京エディション虎ノ門では、東京の由緒ある歴史とモダンな高層ビルのスカイラン、その両方を満喫していただけます。東京の最高のエリアやアトラクション目の絶妙なロケーションにあり、最寄り駅の神谷町、六本木一丁目、そして虎ノ門から容易にアクセスしていただけます。

また、東京タワーや東京湾等、東京のスカイラインを見渡せる 206 室の客室をご用意しており、ホテル内には最高のお食事とお飲み物をご堪能いただける施設のほか、6 室のトリートメントルームを備えたカスタムデザインのスパ、最新設備を備えたジム、そして 4 室のミーティングルームを備えた 387 m² のイベントスペースもご利用いただけます。

LOBBY BAR

東京湾と東京タワーを見わたす景観を臨む開放的かつ落ち着いた空間で、オーダーメイドのカクテルや個性的なセクションのスピリッツ、ユニークなアフタヌーンティーを楽しみながら、ゲストと地元の人々が賑わう新しいタイプの集いの場です。

THE BLUE ROOM

搾りたてのフレッシュジュース、ヘルシーな穀物、職人のパン、そして厳選された地元の食材を用いた、世界で最も健康的な朝食をご提供します。朝食、ランチ、ディナーにご利用いただけるこのレストランは、産地直送の野菜をベースにした様々な特製サラダ、軽めのメイン、地元の市場から仕入れたお魚、お肉のグリル料理、大皿料理など、定番のお料理を幅広くお楽しみいただけます。

ミーティング&イベントスペース

東京エディション虎ノ門は、特別なプライベートイベント、ミーティング、会議等に最適な会場です。387 m²の広さの洗練されたスペースは、プライベートな集まり、展示会、エグゼクティブミーティング、中規模の催し等に適しております。また、上質なサービスと独創的なメニューが、心に残るイベントを演出いたします。

スパ

美、健康、そして幸福に対し、洗練されたアプローチで、ラグジュアリーと快適さを絶妙に融合した、穏やかな癒しの時間をお過ごしいただけます。日本とフランスの厳選した製品のみを使用した、癒しと美容のトリートメントをご堪能ください。伝統とミニマリズムの両方を網羅する効果的な手法を通じて、確かな効果と本当の自分を呼び覚まします。

ジム

24時間オープンジムでは、フィットネスとウェルネスのためのTECHNOGYM最新機器を17台導入しています。ご宿泊のゲストはジムを無料でご利用いただけます。

プール

高い窓から自然光が差し込むプライベートプールは、サンルームのようなくつろぎの空間となっております。

館内施設・サービスのご案内

お子様

赤ちゃんや小さなお子様連れのご家族に快適にお過ごしいただけるよう、幅広いサービスをご用意しております。ご要望につきましては、ゲストエクスペリエンスまでお問い合わせください。喜んでお手伝いさせていただきます。

コンシェルジュ

ホテルロビーのフロント横のコンシェルジュデスクにて、多言語対応可能なスタッフがご案内いたします。レストランの予約、交通手段の手配、チケット、アクティビティに関する情報、その他ご必要とされる情報をご提供いたします。

医師

当ホテルは、24時間対応の医師および信頼ある病院と提携しております。ご滞在中に医療支援が必要な場合は、客室内の電話でゲストエクスペリエンスにご連絡ください。

ランドリーサービス

午前10時までに預けられた衣類は、同日中にランドリーサービスのご対応が可能です。衣類をクローゼットにあるランドリーバッグに入れ、付属のフォームに必要事項をご記入の上、ゲストエクスペリエンスまで回収をご依頼ください。同日の午後6時までに客室にご返却いたします。夜間、および1時間内のエクスプレスサービス(1室3点まで)は100%の追加料金でご利用いただけます。

緊急

ホテルでは、緊急事態が発生した場合に備えて、専門的なトレーニングを受けたスタッフが24時間体制で勤務しております。詳細については、客室のドアの裏に記載されている情報と手順をご参照ください。ゲストの安全に関する詳細については、8ページをご参照ください。

ハウスキーピング

日中清掃とターンダウンサービスを毎日提供しております。ご滞在中に時間指定やその他ご要望がございましたら、電話でゲストエクスペリエンスにご連絡ください。

アイロン

すべての客室には、クローゼット内にスチームアイロンをご用意しております。

インターネット

すべての客室とパブリックスペースには、無料の高速無線インターネットアクセスが備わっております。Wi-FiをONにして「EDITION」を選択していただくと接続できます。接続に問題が発生した場合は、ゲストエクスペリエンスまでご連絡ください。

ランニング

ホテル周辺には素晴らしいジョギングコースがいくつかございます。ランニングまたはウォーキングに出られる前にコンシェルジュデスクに立ち寄っていただければ、道順やおすすめをご紹介します。

遺失物

セキュリティスタッフがなくされた持ち物を記録し、見つけるお手伝いをいたします。詳細については、ゲストエクスペリエンスにお問い合わせください。

お荷物

ご滞在中、いつでもお荷物の移動やお預かりのお手伝いをさせていただきます。ゲストエクスペリエンスにご連絡ください。

メンテナンス

万が一、客室に不具合がございました場合は、電話でゲストエクスペリエンスにご連絡ください。

メッセージ

電話のメッセージライトが点灯している場合は、電話のメッセージボタンを押す事でメッセージをご確認いただけます。

ミニバー

ミニバーには、ソフトドリンク、ジュース、水、スピリッツ、ワイン、シャンパン、ビール、軽食やスナック等を揃えております。ミニバーは毎日チェックし、補充いたします。消費されたものはお客様のアカウントに請求されます。バーに特定のアイテムをご希望の場合、またはなくされたい場合は、ゲストエクスペリエンスまでご連絡いただきましたら、お手配いたします。追加料金が生じる場合がございます。

新聞

ご滞在中新聞のお届けをご希望の場合は、ゲストエクスペリエンスまでご連絡ください。

バレーパーキングサービス

バレーパーキングチケット番号をお電話にてゲストエクスペリエンスまでご連絡ください。ご希望の時間に車両をお手配いたします。

電源アダプター

日本の電圧は100ボルトです。アダプターまたは変圧器をご希望の際は、ゲストエクスペリエンスにご連絡ください。お部屋にお届けいたします。

ルームサービス

24時間ご利用可能で、豊富なメニューからお選びいただけます。メニューは、客室内テレビのホテルサービスメニュー内にご覧いただけます。QRコードからご覧ください。電話のルームサービスボタンからご注文ください。

貴重品のお預かり

ゲストのご貴重品の管理につきましては、客室内のセーフティボックスに加え、レセプションでのお預かりもいたしております。ご希望される場合は、ゲストエクスペリエンスにお問い合わせください。

セキュリティ

ホテルのセキュリティは、トレーニングを受けた専任の担当者が24時間体制でご対応しております。サポートが必要な場合や緊急の場合は、直ちにゲストエクスペリエンスにご連絡ください。

靴磨きサービス

クローゼット内の靴バッグにお靴を入れていただき、付属のカードに必要事項をご記入の上、ゲストエクスペリエンスに回収をご依頼ください。出来上がったお靴は、ご都合の良い時にご返却いたしません。

サステナビリティ

エディションでは、環境保護とグローバルフットプリントの削減に重点を置いております。客室の清掃は毎日行われ、デュベは一日置きに交換されます。より頻繁な清掃をご希望の場合は、ゲストエクスペリエンスにお問い合わせください。タオルを毎日交換せずに再利用される場合は、タオルフックにお掛けください。

禁煙ポリシー

ホテルは屋外テラスを含め、全館禁煙です。

交通手段

ご滞在中、コンシェルジュがあらゆる交通手段をお手配いたします。空港からの送迎や富士山へのヘリコプターツアーのご予約等、お客様のニーズに合わせた最も効率的な交通手配を確保いたします。詳細については、コンシェルジュにお問い合わせください。

モーニングコール

ゲストエクスペリエンスにご連絡ください。いつでもモーニングコールをお手配いたします。

電話通話料金

ローカル/通話：有料

長距離および国際電話：有料

詳細につきましては、ゲストエクスペリエンスにお問い合わせください。

電話手順

客室間：お部屋番号をダイヤル

国内通話：0+番号をダイヤル

国際電話：0 + 010 +国コード+番号をダイヤル

緊急時：緊急ボタン

安全対策

お客様の安全のために、ホテルには最先端の火災検知システムが装備されています。東京エディション虎ノ門のすべてのスタッフは、緊急事態に対応するための訓練を受けています。次の緊急時の手順をよくお読みください。

一般的な安全上の注意事項

ホテルの経営陣は、地方自治体当局と密接に連携を取り、お客様の安全のためにあらゆる予防策を講じています。すべての客室とパブリックエリアには、スプリンクラーと煙探知器が装備されています。ホテルはセキュリティ担当者によって24時間監視されています。万が一の緊急事態が発生した場合、ホテル内アナウンスシステムを介し、すべての客室に設置されたスピーカーからゲストにご連絡いたします。非常口、警報機、消火器、消火栓の場所をよく把握しておくことをお勧めします。設置場所は、ドアの裏側に記載しております。なお、緊急事態時は落ち着いて行動することが極めて重要です。パニックは、緊急事態そのものよりも危険な場合がございます。

火災時の手順：室内の電話の緊急ボタンを押します。

廊下で火災が発生した場合：

- 最寄りの火災警報器を作動させます。
- 火が広がらないように、火災周辺のドアを閉じます。
- 消火器を使用し、ご自身に危険が及ばない範囲で小さな火だけを消すようにします。

避難

避難を求められた場合：

- ルームキーをお持ちください。
- 落ち着いた態度で一番近い出口まで進み、階段を降ります。
- エレベーターを使用しないでください。
- ドアを開く前には、熱くなっていないか確認してください。
- ドアが熱くなっていると感じた場合は、開けないでください。
- 煙が多い場合は注意してください。煙のない廊下または階段に進んでください。
- 周囲を濃い煙に囲まれている場合は、一番近い出口まで這って移動してください。空気は床に近い方が新鮮なため、姿勢を常に低く保ちます。

警報

室内にとどまり、ホテル内アナウンスシステムによる指示をお待ちください。アラームが鳴ると、すべてのゲストエレベーターが自動的にロビーの階に戻り、アラームが鳴り止むまで停止します。

地震

日本では地震が定期的に発生します。軽度の揺れの場合、通常、ホテル内アナウンスシステムによる連絡はいたしません。激しい揺れが発生した場合は、以下の指示に従ってください：

- ガラスの飛散から避けるために、窓から離れてください。
- 落下物から身を守るために、机またはその他の家具の下に身を隠してください。
- ホテル内アナウンスシステムの指示に、注意深く耳を傾けてください。

THE
TOKYO
TORANOMON
EDITION

● 適用範囲、第 1 条

1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

● 宿泊契約の申込み、第 2 条

1. 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - ① 宿泊者名
 - ② 宿泊日及び到着予定時刻
 - ③ 宿泊料金（原則として別表第 1 の基本宿泊料による。
 - ④ その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルはその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

● 宿泊契約の成立等、第 3 条

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときはこの限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3 日を超えるときは 3 日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 6 条及び第 18 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残金があれば第 12 条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第 2 項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

● 申込金の支払いを要しないこととする特約、第 4 条

1. 前条第 2 項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが、前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

● 宿泊契約締結の拒否、第 5 条

1. 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
 - ① 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
 - ② 満室により客室の余裕がないとき。
 - ③ 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序著しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - ④ 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - ⑤ 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - ⑥ 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - ⑦ 宿泊しようとする者が泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。

● 宿泊客の契約解除権、第 6 条

1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は、一部を解除した場合（第 3 条第 2 項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いにより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第 2 に掲げるところにより、違約金を申し受けず。ただし、当ホテルが第 4 条 1 項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後 6 時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を 2 時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

● 当ホテルの契約解除権、第 7 条

1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - ① 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序著しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - ② 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - ③ 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。

THE
TOKYO
TORANOMON
EDITION

- ④ 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - ⑤ 宿泊しようとする者が泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。
 - ⑥ 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたづら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

● **宿泊の登録、第 8 条**

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- ① 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - ② 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - ③ 出発日及び出発予定時刻
 - ④ その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第 12 条の料金の支払いを、旅券小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

● **客室の使用時間、第 9 条**

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後 3 時から翌日の正午までとします。
2. 当ホテルは、前項の規定に関わらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- ① 超過 3 時間までは、室料金の 25%
 - ② 超過 6 時間までは、室料金の 50%
 - ③ 超過 6 時間以上は、客料金の 100%

● **利用規則の遵守、第 10 条**

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

● **営業時間、第 11 条**

1. 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスガイド等でご案内いたします。
- | | | | | | |
|----------------------|--------------|------------|-------|------------|------|
| ① フロント・キャッシャー等サービス時間 | イ. 門限 なし | ロ.フロントサービス | 24時間 | ハ.外貨両替サービス | 24時間 |
| ② 飲食等サービス時間 | イ. 朝食 | ロ. 昼食 | ハ. 夕食 | ニ. その他の飲食等 | |
| ③ 附帯サービス施設時間 | イ. スバ&フィットネス | | | | |
2. サービス・ディレクトリーに掲載された営業時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

● **料金の支払い、第 12 条**

宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。

前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わる方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントキャッシャーにおいて行っていただきます。

当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

● **当ホテル責任、第 13 条**

当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客が損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

当ホテルは、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

● **契約した客室の提供ができないときの取扱い、第 14 条**

当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

● **寄託物等の取扱い、第 15 条**

宿泊客がフロントキャッシャーにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であつて、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは、15 万円を限度としてその損害を賠償します。

THE
TOKYO
TORANOMON
EDITION

宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントキャッシャーにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は

過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告のなかったものについては、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

● **宿泊客の手荷物又は携帯品の保管、第16条**

宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。

宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同条第2項の規定に準じるものとします。

● **駐車場の責任、第17条**

宿泊客が当ホテルの契約しているホテル内駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

● **宿泊客の責任、第18条**

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

THE
TOKYO
TORANOMON
EDITION

利用規則

東京エディション虎ノ門では、宿泊約款第 10 条に基づき、当ホテルの品位を保ち、またお客様が当ホテルに滞在中に快適かつ安全にお過ごしいただくことを目的とした利用規則を下記の通り定めておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。万一この規則に対してご協力がいただけなかった場合は、宿泊約款第7条第1項により、客室及び当ホテル内の他の諸設備のご利用をお断り申し上げます。

また、お客様のご協力が得られなかった結果生じた事故については、当ホテルでは責任を負いかねますので、その旨ご了承下さいますようお願い申し上げます。

1. ベッドの中など、火災の原因となりやすい場所での喫煙はなさないで下さい。
2. 客室内では火災の原因となるような行為はなさないでください。また 暖房用、炊事用などの熱を発生する器具及びアイロン等をご使用なさないでください。
3. 下記の物品は、他のお客様の迷惑になりますのでお持ち込みはお断りさせていただきます。
 - (イ) 動物、鳥類
 - (ロ) 火薬、揮発油その他発火、引火性のもの
 - (ハ) 悪臭を発生するもの
 - (ニ) 常識的な大きさ、量をこえる物品
 - (ホ) 法により所持を許可されていない鉄砲、刀剣、覚醒剤の類
4. ご訪問客と午後10 時以後の客室内でのご面会をご遠慮願います。
5. 当ホテルの許可なく、客室、ロビー等を営業行為（展示、広告、宣伝、販売等）などの他の目的でご使用にならないようお願い申し上げます。
6. ご滞在中の現金、貴重品の保管にはフロント会計にて備え付けの貸し金庫をご利用いただくようお願い致します。万一紛失、盗難事故等が発生した場合、ホテルでは一切の責任を負いません。
7. ホテル内のレストラン、バーなどをご署名によってご利用なさる場合は必ず客室の鍵をご提示ください。
8. 客室やロビーを事務所や営業所がわりとしてご使用することはお断りさせていただきます。
9. 公衆電話はロビーにございます。客室内よりお電話をご利用の際は施設利用料が加算されますのでご了承ください。
10. 諸博その他風紀を乱し、他人に迷惑をかけるような行為をなさないでください。
11. 館内の諸設備および諸物品についてのお願い。
 - (イ) 本来の目的以外の用途にご使用なさないでください。
 - (ロ) ホテルの外へ持たさないでください。
 - (ハ) 他の場所に移動したり加工したりしないでください。
12. 館内外の諸設備、備品の汚損、破損、紛失については、実費を申し受けます。
13. ゆかたとスリッパは客室内でのご利用のためにご用意しております。ゆかたとスリッパの客室外でのご利用はご遠慮願います。
14. ご滞在中、フロント会計からの勘定書の提示がございましたら、その都度、お支払いください。
15. ホテル外から飲食物等のご注文（配達）はお断りさせていただきます。

THE
TOKYO
TORANOMON
EDITION

別表第1

- 宿泊料金等の算定方法（第2条第1項、第3条第2項及び第12条第1項関係）

		内 訳	
		宿泊客が支払 うべき総額	宿泊料金
追加料金	(4) 飲食料及びその他の利用料金 (5) サービス料 ((4) × 15%) インルームダイニング及びランドリーサービスのご利用には 15% のサービス料を加算させていただきます。 (6) 税 金 ハ. 消費税		
税金の積算 (イ+ロ)			
宿泊料金	イ. 消費税: ((1) + (2)) × 消費税率 ロ. 宿泊税 1) 一名10,000円～ 14,999円: 100 円 2) 一名 15,000 円以上: 200 円		
追加料金	ハ. 消費税: ((4) + (5)) × 消費税率		

備考：上記は税法が改正された場合など、その改正された規定によることとします。

客室定員 2名（全ての客室タイプ）

別表第2

- 違約金（第6条第2項関係）

契約申込人数		契約解除の通知を受けた日		
		不泊	当日	前日
一般	9部屋まで	100%	100%	50%
団体	10～ 99名まで	100%	100%	100%
	100名以上	100%	100%	100%
		前々 日	9日前	20日前
一般	9部屋まで			
団体	10～ 99名まで	50%	20%	
	100名以上	100%	50%	20%

THE
TOKYO
TORANOMON
EDITION

(注)

1. %は基本宿料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を収受します。
3. 団体客（10部屋以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合には切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。